

滋賀県議会だより



No.120

編集・発行／滋賀県議会

11月定例会議の概要

11月29日～12月21日の23日間

11月定例会議では、職員の給与等に関する人事委員会の勧告や滋賀応援寄附の寄附見込額の増加を踏まえ、総額24億5,912万2千円を追加する「令和5年度滋賀県一般会計補正予算（第5号）」、国の経済対策にかかる補正予算に呼応した「物価高騰

対策」、「県民の安全・安心の確保」、「県内投資の促進」、「賃上げ・人材確保対策」、「防災・減災、国土強靱化」、「デジタル改革」の6つの柱からなる「滋賀県版経済対策」のための経費など、総額228億5,323万3千円を追加する「令和5年度滋賀県一般会計補正予算（第6号）」をはじめとする知事提出議案35件と議員提出議案4件が上程されました。

これらの審議の結果、いずれも原案のとおり可決または同意しました。また、9月定例会議において継続審議とされていた令和4年度滋賀県歳入歳出決算の認定等を求めること等について、認定または可決しました。

問

鹿児島国体を終えて、成績も含めた知事の感想と、20

国スポ・障スポ

このように、滋賀の持つ奥深い歴史や文化、食などの魅力・情報を、時機を逃さず積極的にメディアへ発信し、その効果を広げ、持続させるための工夫も取り入れながら、「選ばれる滋賀」の実現を目指していきます。

県庁を挙げて機会をとらえ、これまで以上に情報発信力を高めていく必要があり、人々の心に響く情報発信となるよう工夫を重ねていきます。映画「翔んで埼玉」の公開に合わせ、滋賀の魅力の再発見をねらったアンケートを実施し、多くの声が寄せられています。今後、県民の皆さんも巻き込みながら、寄せられた新たな滋賀の魅力を、県内外に向けた情報発信の素材や切り口として活用していきます。

答

大河ドラマ「光る君へ」の放送開始や2025年の国スポ・障スポ大会の開催など、今後、

広報

問

映画「翔んで埼玉」琵琶湖公開されましたが、こうした映画は、その地域や地方の大きなPRになります。「選ばれる滋賀」は、

様々な広報活動を通じ、滋賀に興味を持ってもらうことから始まると思いますが、県の広報戦略について伺います。

11月定例会議における

質疑・質問から



質疑・質問の詳細はこちら



開会式での滋賀県選手団入場行進（鹿児島国体）

開会式に参加し、鹿児島県の皆さんの、延期を受け入れた滋賀県への感謝の思いを様々な場面で感じるとともに、延期のため出場できなくなった選手の思いも携え大会に臨む選手団の姿を、万感の思いで拝見しました。

鹿児島国体における本県選手団の成績は17位と、目標の10位以内は達成できなかったものの、順位、入賞数ともに昨年を上回りました。障スポでは、3種目で大会記録を更新するなど着実に力をつけている。2025年の国スポに向けては、天皇杯・皇后杯が獲得できるように選手や競技団体を支えて

25年の滋賀での国スポ・障スポの開催を目前にした決意を伺います。

答

の皆さんの、延期を受け入れた滋賀県への感謝の思いを様々な場面で感じるとともに、延期のため出場できなくなった選手の思いも携え大会に臨む選手団の姿を、万感の思いで拝見しました。

琵琶湖・環境

問

11月にハンガリーで第19回世界湖沼会議が開催されました。今回の会議で主に議論されたことや、県として、今後琵琶湖の保全管理に参考とすべき点で確認できたことを伺います。また、持続可能な湖沼管理を世界で進めていくにあたり、琵琶湖を預かる知事の決意を伺います。

今回の会議では、「世界湖沼デー」の制定を呼び掛けたほか、本県高校生も参加した交流会をはじめ、若者世代の積極的な参画のもと、持続可能な湖沼管理に向けた議論が行われました。これらは「びわ湖の日」の取組や県の調査研究に基づいた行政計画・施策の立案、マザーレイクゴールズ（MLGS）を始めとする官民協働による取組などを進めていく上で参考となり、今後、そうした取組を更に深化、発展させていくことが重要であると感じました。

答

今回の会議では、「世界湖沼デー」の制定を呼び掛けたほか、本県高校生も参加した交流会をはじめ、若者世代の積極的な参画のもと、持続可能な湖沼管理に向けた議論が行われました。これらは「びわ湖の日」の取組や県の調査研究に基づいた行政計画・施策の立案、マザーレイクゴールズ（MLGS）を始めとする官民協働による取組などを進めていく上で参考となり、今後、そうした取組を更に深化、発展させていくことが重要であると感じました。

本県は、水質汚濁などの問題を克服してきた経験を踏まえ、国際会議を通じて湖沼の重要性を世界に発信するなど、国内外における



閉会式でのバトン宣言(仮称)骨子の発表(世界湖沼会議)

湖沼管理の推進において主導的な役割を担ってきたと認識しています。

今後も、国際会議等の場で本県の経験や知見を提供するとともに、「世界湖沼デー」の制定に向けた呼び掛けを世界に発信し、それぞれの国や地域の実状に応じて適切な湖沼管理が実施されるよう、リーダーシップを発揮し、世界における持続可能な湖沼管理に貢献していきます。

出産・子育て

問

安心して出産できる環境を整えるためには、妊娠前から、出産後、子育てまでの切れ目のない支援体制が重要と考えますが、本県における支援の充実、それを支える方々への支援について、分娩取扱医療機関の偏在等への対応と併せて伺います。

答

一人ひとりの妊産婦に寄り添った支援を行うことは非常に重要です。特に心身の負担が大きく、孤立しがちな産前・産後の母子に対するサポートが重要なことから、まずは産婦健診の実施が県内に広がるよう、市町、医師会等と調整し、今年度から広域で受診できる体制が整い、新たに8つの市町で事業化されました。また、助産師や保健師など専門職の資質向上のための研修を充実させるなど、切れ目のない支援体制を整えます。

分娩取扱医療機関の偏在については、二次医療圏域によっては、リスクのある妊婦の受入れが困難な現状があることは認識しています。そのため、たとえリスクがあっても安全に出産できるよう、県内を4ブロックに分け、リスクの高い分娩は周産期母子医療センターで受け入れる体制を構築したところ。今後も、県内どこでも

用語解説

※1 「世界湖沼会議」…世界の湖沼および湖沼流域で起こっている環境問題等の議論の場として、1984年に滋賀県の提唱で第1回が開催された国際会議。以来、(公財)国際湖沼環境委員会(ILEC)等により、概ね2年ごとに世界各国で開催されている。滋賀県では第1回の後、2001年に第9回会議が開催された。

※2 「産婦健診」……産後2週間、産後1カ月など出産後間もない時期の産婦に対し、母体の身体的機能の回復や授乳状況の把握等を行うもの。

(裏面に続きます)

安全に出産できるよう、分娩やケアの役割分担を含めた地域の体制について市町や関係機関とともに検討していきます。

子どもの読書活動

問 現在検討中の「第5次滋賀県子ども読書活動推進計画」では、「こども」としよかん」について、置かれた環境にかかわらず、すべての子ども達が読書を身近に親しむことができるよう取り組んでいきたいとされていますが、本県ならではの「こどもとしよかん」とはどのようなものか、また、これを着実に推進していくための方策を伺います。

答 「こども」としよかん」とは、どこか一か所に施設を作るのではなく、すべての子どもの身近に本があり、読書に親しめる環境を整えることです。そのためには、県や市町、民間等、子どもの読書に関わるすべての人が、みんなで子どもの読書活動を総合的に推進していくことが大切です。具体的な方向性としては、「すべての子どもが本に親しめる環境づくり」、「学校・園・ボランティアなど、子どもの読書活動を支える人への支援」、「子育て世代に魅力ある図書館づくり」、「様々な主体が連携した取組による子どもの読書環境の充実」の4つを考えています。

推進していくための方策としては、子どもたちに身近な学校図書館の役割も大きいことから、まずは県内のすべての市町に学校司書が配置され、学校図書館の機能がより活用されるよう、市町とともに取り組んでいきたいと思っています。

また、幼稚園や保育所、認定子ども園のほか、子育て世代が利用する児童館や、シヨッピングセン

ター等で、本と出会う機会の創出にも取り組む予定です。

取組を着実に推進するため、子どもの読書活動や学校図書館の支援機能を持つセンターを設置したいと考えています。

産業振興

問 経済成長の基盤となる人材育成、ひとづくりの取組について伺います。また、持続可能な経済成長のための技術革新や新たな価値創造など、新たなチャレンジを促し、イノベーションを創出していくための取組について伺います。

答 企業の人材育成力強化に心据えることが重要です。経営層と人事担当者が人材育成強化策を学ぶワークショップなどにより意識改革を促すほか、企業の省人化、省力化による経営強化につなげるため、小規模事業者や従業員のスキル向上に向けた取組を支援しています。あわせて、従業員の^{※3}リスキリングがますます重要な取組となっていくことから、県内大学での先行事例を参考に、まずはリスキリング・マインドの醸成に取り組みます。また、経済団体や関係機関、有識者等で構成する協議会を今年度中に新たに立ち上げ、具体的な施策を検討し、その展開を通じて、本県の経済成長を支える人材の育成に取り組んでいます。

本県は、大企業の研究所や開発機能を備えたマザー工場、理工系大学が多く集積しているなど、イノベーションの担い手として期待される^{※4}スタートアップの発掘・育成環境に恵まれています。今後は、成長段階に応じたきめ細かな伴走支援により、本県発のスタートアップが続々と生まれることで、

イノベーションの創出へと着実に繋げていきます。

不登校対策

問 不登校児童等の増加を受けて、平成28年にいわゆる「教育機会確保法」が制定され、国では令和5年3月に「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策（COCOLOプラン）」が策定されました。

県としても、増え続ける不登校への対策として、すべての子どもの学びの機会を保障するため、「し」がの学びと居場所の保障プラン」を策定しているところですが、策定への思いと推進体制、また、不登校対策や、子どもの状況に応じて教育と福祉が連携した「チーム」で支援するための取組について伺います。

答 不登校の背景は様々で、家庭、学校、本人に関わること等の要因が複雑に絡み合っている

と認識しています。新たに策定するプランでは、「すべての人が愛情を持って関わり子どもたちの生きる力を育む」ことを基本理念とし、子どもたちに多様な学びの機会と安心して成長できる居場所の確保を目指します。今後、推進体制についても実効性ある取組につながるよう考えていきます。

不登校への対策としては、学校においては、子ども一人ひとりの要因を見極め、個々に応じた対応が必要と考えています。教室に入ることができない子どもには、校内に安心して過ごせる場所を確保することが必要です。

そして、「チーム」での支援をこれまで以上に充実させるため福祉との連携が何より大切であると認識しており、市町も含め、こうした取組を進めていきます。

用語解説

- ※ 3 「リスキリング」……労働者・求職者等が、新たな就業や新たな業務のために必要となる技術、技能、知識等を習得すること。
- ※ 4 「スタートアップ」…新たな市場開拓や社会貢献等により、事業の価値を短期間に飛躍的に高め、株式上場や事業売却を目指す企業や組織のこと。

11月定例会議で審議した主な議案

議案番号	件名	結果
(知事提出) 議第110号～ 議第115号	令和4年度滋賀県一般会計および各特別会計歳入歳出決算の認定を求めることについて ほか5件	認定
議第130号	令和4年度滋賀県モーターボート競走事業会計未処分利益剰余金の処分につき議決を求めることについて	可決
議第132号～ 議第139号	令和5年度滋賀県一般会計補正予算（第5号） ほか7件	可決
議第140号～ 議第146号	滋賀県手話をはじめとする障害の特性に応じた言語その他の手段による意思疎通等の促進に関する条例案 ほか6件	可決
議第147号	損害賠償の額を定めることにつき議決を求めることについて	可決
議第148号～ 議第156号	指定管理者の指定につき議決を求めることについて（滋賀県立県民交流センター） ほか8件	可決
議第157号	公立大学法人滋賀県立大学定款の変更につき議決を求めることについて	可決
議第158号	令和6年度において発売する当せん金付証票の発売総額につき議決を求めることについて	可決
議第159号	関西広域連合規約の変更につき議決を求めることについて	可決
議第160号	第4期滋賀県教育振興基本計画の策定につき議決を求めることについて	可決
議第161号～ 議第165号	令和5年度滋賀県一般会計補正予算（第6号） ほか4件	可決
議第166号	滋賀県人事委員会委員の選任につき同意を求めることについて	同意

11月定例会議で審議した意見書

番 号	件 名	結果
意見書第16号	エネルギーの安定供給等に向けた研究開発の促進を求める意見書(案)	可決
意見書第17号	北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書(案)	可決
意見書第18号	国民皆歯科健診の実現を求める意見書(案)	可決
意見書第19号	医療・介護・障害福祉分野における処遇改善を求める意見書(案)	可決

11月定例会議で採択した請願

- 国民皆歯科健診の実現を求める意見書の提出を求めることについて

議会からのお知らせ

●安土山図屏風探索と第19回世界湖沼会議出席

奥村議長は、11月にバチカン市国・イタリアを訪問し、県が「『幻の安土城』復元プロジェクト」の一環として進める安土山図屏風探索への協力を依頼し、お会いした皆さんに前向きに受け止めていただきました。

また、ハンガリーで開催された第19回世界湖沼会議に出席し、世界の湖沼問題の解決に向け、各国が協力して、共に取り組むことを呼びかけました。



千葉大使、タブレ枢機卿他関係者と奥村議長（バチカン大使館）



第19回世界湖沼会議に臨む滋賀県からの参加者

●滋賀県議会ホームページ、X（旧ツイッター）

本会議や委員会の開催情報、議会の仕組み、議員の紹介、会議録など、県議会の最新の情報を随時掲載しています。

また、本会議の様子はライブ中継と録画配信もしています。

滋賀県議会ホームページ

<https://www.shigaken-gikai.jp/>

滋賀県議会 X(旧ツイッター)

(アカウント名 @shigakengikai)

スマートフォン
等でも御覧
いただけます。

